

平成29年度 尾張旭市自治会等活動促進助成事業候補選定会議録
ー公開プレゼンテーションー

1 開催日時

平成29年6月17日（土）

開会：午前9時30分 閉会：午後12時30分

2 開催場所

尾張旭市渋川福祉センター 研修室

3 出席者（敬称略）

【候補選定会議候補選定員（以下「候補選定員」という。）】

伊藤 雅一 学校法人菊武学園 名古屋産業大学 大学院研究科長

岡本 一美 特定非営利活動法人地域福祉サポートちた 理事

石坂 清二 市民生活部長

山下 昭彦 総合推進室長

【申請団体】

① 瑞鳳連合自治会

② 桜ヶ丘東自治会

③ 旭丘連合自治会

④ 本地ヶ原連合自治会

⑤ 旭台自治会

⑥ 松ヶ丘町内会

⑦ 第二白山町内会

⑧ 第一南山町内会

⑨ 山の手自治会

【事務局】

佐藤 嘉彦 市民活動課長

木村 幸広 市民活動課コミュニティ係長

伊藤 公一 市民活動課コミュニティ係主査

田中 貴大 市民活動課コミュニティ係主事補

宮崎美由紀 市民活動課コミュニティ係職員

4 会議概要

開会あいさつ・候補選定員紹介

申請事業プレゼンテーション・質疑応答

候補選定結果発表

候補選定員講評

質疑応答

閉会あいさつ

5 申請事業プレゼンテーション・質疑応答

① 瑞鳳連合自治会 自治会加入促進キャンペーン

伊藤候補選定員	いろいろな工夫を重ね、いろいろな地域活動の蓄積の上で本事業があると理解していますが、独自に作成したパンフレットを見た未加入者の方の反応等、ご紹介いただけるものがあれば教えてください。
瑞鳳連合自治会	第1次キャンペーンが6/4で終わりましたが、反応まではなかなか聞くことができませんでした。6/4の古墳まつりでパンフレットを配りましたが、加入している方が多い中、1人だけ関心をもって見ていただけた。これからじっくり取り組んでいきたいと思っています。
石坂候補選定員	パンフレットを活用して加入の促進をするということですが、加入していない方に、町内会に入ってどんなメリットがあるか等を伝えるための、瑞鳳ならではのPR方法等があれば教えてください。
瑞鳳連合自治会	パンフレットに瑞鳳地区で活動している団体の名前をすべてのせています。加入者も中身を知らないことがあるので配りながら紹介し、もっと参加していただけるように、この部分を強調したいと思っています。

② 桜ヶ丘東自治会 地域の自主防災体制の構築（2年目）

岡本候補選定員	1点目ですが、身体障がいがある方ですとか認知症の高齢者などの状況をどこまで把握され、さらに支援者がどこまで日常的にかかわりをもっておられるのか。見守り体制はどのようにされているのかという点についてお聞きしたいです。 もう1点、同じことに関して専門職である、ケアマネージャー等とのかかわりが現在あるのか、お聞きしたいです。
桜ヶ丘東自治会	2点目のケアマネージャー等との連携についてはこれからです。 1点目は、対象者には重度の障がい者や軽度の方もいますので、自力では避難が難しいと思われる方は手をあげてくださいというかたちをとりました。あくまでもボランティアですので、重度の方に対してどこまでやれるのかというところがあります。各町内会の役員等が日常の中でちょっとしたあいさつなどからコミュニケーションをはかり、安心感をもってもらっており、これからさらにつめていきたいと思っています。

③ 旭丘連合自治会 3R推進事業

伊藤候補選定員	助成金の最終年度ということで工夫されていると思いますが、新しい取り組みをしていこうと考えているのか、あるいは継続の可能性を模索していこうとされているのかどうお考えでしょうか。
旭丘連合自治会	エコフェスというイベントをどうしていくのか、連合自治会としてごみの問題をどうとらえていくのかという2つの側面がある。規模の縮小はあるかもしれないが、今後も進めていかなければいけないと思っています。今年の活動を進めていく中で話題にしながら進めていけば、秋には答えがみえてくるのではないかと思います。
石坂候補選定員	資源化の量が減ってきているということでしたが、やっていない方にきっかけを与えてやっていただくというのが一番効果的だと思いますが、そういった方への働きかけや工夫がなにかありますか。
旭丘連合自治会	実際に資源ごみが資源ごみとして出ていくというのは、各家庭の中の話で残念ながら私たちが目にするのは不可能なので実際に指導するのは難しい。ただ、昨年度の市の調査では雑紙の混入率が旭丘連合自治会は他と比べて少ないという数字があり、平成21年からの活動の結果ではないかと思います。雑紙に対してのDVDを作ってアピールしたというのもあって、その成果もあるのではないかと思います。

④ 本地ヶ原連合自治会 校区防災力強化事業（その3）

岡本候補選定員	小中学生を地域活動にかかわってもらうためのきっかけづくりとして同窓会を通じてということでしたが、直接学校に連携を求めていくということとはしていますか。
本地ヶ原連合自治会	いまのところありませんが、本地ヶ原地域には旭中と、3つの小学校があるので本地原小学校だけという働きかけは難しい。しかし、本地原小学校からは旭中に行くので、本地原小学校の同窓会を通じてよびかけてもらうように働きかけています。
山下候補選定員	町内会や自治会の意識付けというお話がありましたが、3年目ということもあり完成形だと思います。この3年間を通じて住民の意識変化はありましたか。
本地ヶ原連合自治会	1年目、2年目とアンケートをとりました。1年目はかなり低い回答率でしたが、2年目にはよい回答率でした。連合自治会では、各自治会に沿ったPRの仕方をしたりしているので、それが結果にでているのではないかと思います。

⑤ 旭台自治会 健康体操で“地域交流・世代間交流”の活発なまちづくり

伊藤候補選定員	自治会の取り組みを校区交流ということで連合自治会に広めるという意味では校区交流の仕組みを新たに進めるということで、初めての提案
---------	---

	と受け止めさせていただきました。自治会の取り組みを連合自治会に展開していく上でいろいろな工夫や御苦勞や課題があるのではないかと思います。事柄等を教えていただきたいです。
旭台自治会	運動会を事例にあげますと、連合自治会は世話役を若い人に任せます。そこで、子どもから何か困ったことはないかスポーツ員を派遣しました。すると、昼の時間にお年寄りを集めてブラスバンドをやるという話しがあり、その話しを進めているところです。
石坂候補選定員	全体では高齢者が792人でうち94名が参加しているということでしたが、実際やられている方はさまざまな事情があると思うので今の状況で他地区へ広めていこうと思うのか、もう少し自分のところで利用者を増やして他地区へと考えてみえるのか、戦略があれば教えてください。
旭台自治会	旭台に近いところの地域にシニアクラブがなく、自治会活動も不可能なので旭台が面倒をみるというかたちで取り込みました。自分たちで問題を解決しながら自治会がバックアップした体操グループが1つでも増えることが今の仕事と思っています。

⑥ 松ヶ丘町内会 「健康寿命志向まちづくり」活動継続事業

岡本候補選定員	ボランティアで移動を支援するということに、保険対応はどのようにされていますか。
松ヶ丘町内会	保険の問題は難しいところですが、自主的に車を提供してくれる住民にどういう保険に入っているか、特に人身保険について確認してからお願いしています。

⑦ 第二白山町内会 第二白山防災協力隊

伊藤候補選定員	要支援者への対応ということで、先ほど本地ヶ原連合自治会の発表の中で第二白山町内会の要支援者へ伝える体制づくりを行ったと発表がありましたが、今回の申請は連合自治会の活動も踏まえながら申請しようということですか。
第二白山町内会	そういうことです。連合自治会が各町内に下してきたが、今回、町内独自にやろうと申請しました。
伊藤候補選定員	もう1点、申請書を確認しますと総経費が60万円ぐらいとありますが、今年度の事業費なのか今後のことも考えての金額なのか。
第二白山町内会	今年度です。
石坂候補選定員	通常パンフレットを作成するなど、住人の方にわかっていただくようなことが必要かと思いますがその経費ありません。80世帯の方がみえ、備蓄品や取り組みなどをみなさんに周知していただくためにも、分かりやすい方法でお伝えしたらいかがでしょうか。

第二白山町内会	考えていませんでした。参考にします。
---------	--------------------

⑧ 第一南山町内会 ふれあい活動を通じて地域より一層の活性化をめざす

岡本候補選定員	予算書を拝見しますと助成金10万円、自治会自己資金4万円、その他会費等24万9千円、全体で34万9千円とありますが、この24万9千円は受益者負担ということで、イベントに参加される方が参加費を払うと考えてよろしいですか。
第一南山町内会	そういうことです。例えば、夏祭りですと屋台を出しますのでその売り上げや、各種団体からの助成金もあります。
山下候補選定員	やろまい会というのはどういう集まりでしょうか。
第一南山町内会	町内会は毎年会長がかわるので、継続した活動ができるよう8年前に5～6人集まって作った会です。メンバーは増えてきているが、リーダーの担い手が中々いないというのが課題です。

⑨ 山の手自治会 未来を見据えた自治会活動持続事業

伊藤候補選定員	以前から新規転入の方やヤングママ、パパや里帰りの方たちを対象にして取り組みを進めてきていますけど、その方たちのこれまでの反応などをご紹介いただければと思います。
山の手自治会	イベントごとに協力してくださる方が出てきています。仲間は増えていますが、自治会の役員や会長の担い手がないという課題はあります。4年目5年目も継続していこうと思っています。
石坂候補選定員	旅費で5万円とありますが、今後の4年目5年目にむけた視察ということでしょうか。
山の手自治会	場所は決まっていませんが4年目5年目に向けて、いままでと違ったイベントをやるときに他の自治会や県へ見学に行こうと思っています。

6 候補選定会議

- (1) 候補選定員による採点
- (2) 採点結果集計及び評価率の算出
- (3) 選定結果の確認

7 候補選定結果発表

自治会等名（申請順）	ランク	申請額	助成額
瑞鳳連合自治会	A	42,000 円	42,000 円
桜ヶ丘東自治会	A	100,000 円	100,000 円
旭丘連合自治会	A	100,000 円	100,000 円
本地ヶ原連合自治会	A	100,000 円	100,000 円
旭台自治会	A	100,000 円	100,000 円

松ヶ丘町内会	A	65,000 円	65,000 円
第二白山町内会	A	100,000 円	100,000 円
第一南山町内会	A	100,000 円	100,000 円
山の手自治会	A	100,000 円	100,000 円

8 候補選定員講評

山下候補選定員

【瑞鳳連合自治会・桜ヶ丘東自治会・旭丘連合自治会 講評】

本日のプレゼンテーション、大変お疲れ様でした。ご多忙の中、発表の取りまとめや、資料の作成などに取り組んでいただきましたこと。さらに、本日の発表に至るまでの間、様々な形でご協力いただきました、全ての関係者の皆様に、心から感謝と敬意を表させていただきたいと思います。

私は、今回2回目の参加となりますが、昨年度と同様、レベルの高い素晴らしい内容ばかりで、大変感銘を受けたところでございます。

それでは、それぞれの団体の講評に移りたいと思います。

まず、初めの「瑞鳳連合自治会」様の「自治会加入促進キャンペーン」につきましては、自治会運営において最も重要で、全国的な課題でもある「自治会加入率の向上」に、真正面から立ち向かおうとする事業で、大変興味深く拝聴させていただきました。

その中でも「一緒にまちづくりをしませんか」という副題（キーワード）は秀逸で、活動される方にとっては「無理なく」、また新規で加入される方にとっては「負担なく」といったイメージを抱き、非常に素晴らしい、市役所としても活用させていただきたい言葉を選ばれたなと感じました。

なお、少子高齢化の進行、大規模災害への懸念、犯罪の増加など、様々な不安が蔓延する現代において、自治会への加入は、非常に重要なカギを握っております。

独自のパンフレットの作成、一斉加入促進キャンペーン等、大変興味深い取り組みが盛り込まれており、市内のどの地域でも取り組めるものと思いますので、ぜひその効果が表れました際には、他の地域の皆さんにも広めていただきたいと思います。本日はありがとうございました。

続いて、「桜ヶ丘東自治会」様の「地域の自主防災体制の構築」につきましては、今回で2年目ということもあり、前回の実施結果や改善点を踏まえて、さらに事業内容が充実しておられました。

特に「子育て世代」をターゲットとした「親子で遊ぶ防災ゲーム」は、他自治会でも活用できる発展性の高い取り組みであり、セーフティリボンを使用した訓練や、各種対応策の紹介・施工に関することなど、こうした取り組みの評判が、クチコミで広がれば、さらに事業効果が高まる、また十分その可能性があると感じました。

また、「向こう三軒両隣の双方向安否確認」は、市内だけにとどまらず、全国どこの地域でも重要な行動であり、防災だけでなく、防犯や地域福祉の充実にもつながるなど、非常に有益な取り組みで、こうした活動を積み重ねることによって、きっと地域の皆さんに「これからも、この地域に住み続けたい」と思ってもらえるものと思います。

様々な準備等でご苦労も多いかとは思いますが、できればそうした方々が、新たな「地域づくりの担い手」として加わっていただくことも目指していただ

	きながら、取り組んでいただければと思います。本日はありがとうございました。 それでは最後に、「旭丘連合自治会」様の「3R推進事業」についてでございます。既に3年目ということで、事業としての完成度は非常に高く、公益性や実現性においては申し分のないものであると感じたところでございます。 「ごみの減量」については、行政としても様々な取り組みを進めておりますが、「規制」や「強制」などといった形で実施しては、やはり長続きはしないものと思います。 こうした中、イベント等の開催を通じて、「気が付いたら、ごみの減量につながっていた」といったように、無理なく楽しみながら実施できる仕組みを構築しておられ、このことは最早、「ごみの減量は特別なことではなく、日常的なこと」といったことにつながり、今後の継続性にも大きく貢献することになると思います。 特に、様々な地域団体と連携するだけでなく、小学校との密接な関係のもと、「地域連携教育推進事業の発表の場」とされていることは特筆すべきことであり、子どもたちの自立や、社会参加を育む素晴らしい取り組みであると感じました。 こちらもイベントの準備や他団体との調整等でご苦労が多いかと思いますが、ぜひ今後も継続して、他地域の模範となっていきたいと思います。本日はありがとうございました。
石坂候補選定員	【本地ヶ原連合自治会・旭台自治会・松ヶ丘町内会講評】 本地ヶ原連合自治会ですが、校区防災力強化事業ということで説明をいただきました。初め、申請書を拝見させていただいた時は計画の中で研修会、勉強会を開催すると書かれていましたが実際にどんな内容かは書かれていませんでした。しかし、プレゼンでは昨年度さまざまな実践的な取り組みについてご紹介いただき、今年度は被害を最小限に抑えるためのマニュアルの作成や転倒防止の講習会などをご紹介いただき、たいへんよく分かりました。年間計画も拝見させていただき、大きな連合自治会という組織の中でやっていくということで相当なご苦労があると実感しました。あと、いざという時の災害時のために要支援者への取り組みを開始するということした。いざ災害が起こったときに避難所の生活というのは想像もできない事が起こるかと思いますが、行政は全てに手が届きません。そのため、共助が非常に大事になってくると思います。今後においてもステップアップして避難所の運営等も準備して、住民の方にPRしていただけるとよいと思います。 旭台自治会の地域交流・世代間交流の活発なまちづくりということですが、高齢者が集まる仕組みを活用した安心・安全の取り組み、音楽や体操を取り入れた健康づくり、世代を超えた地域の交流など互いに関連しあって進めていくという、地域にとってはさまざまな相乗効果が期待できるすばらしい取り組みであると感じました。また、旭台地区から東栄小学校区へ広げていき、さらに市全体に広げていこうと、地域を超え

	た壮大な計画を立てられていました。これを実現しようとする多くの 方の協力が必要になるかと思いますので、一気にやろうと思わず、一歩 一歩やっていただけたらと思います。申請書を見た感想ですが、いろい ろな添付書類があり非常に活字が多いので、今年度にいつ誰が何をする のかがわかりづらい部分もありました。事業内容はとてもすばらしい し、熱意も伝わりましたので、旭台を知らない方にも申請書を見ていた だいて、分かりやすい内容になっているか聞いてみてもよいのではない でしょうか。 松ヶ丘町内会の健康寿命志向まちづくりということで、今回で3回目 の事業ということで、たくさんの取り組みをしていただいております が、参加者だけではなく、市にとっても介護予防というとてもありがた い事業だと思いました。今年は新たな事業として、近くの方々が気軽に 立ち寄れるサロンを開催するという提案がありまして、これを楽しみに される方も非常に多いかと思いますので、地域の憩いの場でよい関係が 築けることが期待できると思います。以前にもいくつかの事業をされて いますが、参加者が着実に増加しているということもあり、固定された 方だけではなく、新たな方も参加していただけるような工夫がされてい ると思いましたので、非常に頼もしく思いました。来年度からは助成事 業の対象からは外れ、財源が厳しくなるかと思いますが、地域の期待が あると思いますし、市としてもありがたい取り組みですので、今後も継 続していただけたらと思います。
岡本候補選定員	【第二白山町内会・第一南山町内会・山の手自治会講評】 第二白山町内会ですが、民生委員の協力を得ながら要支援といわれる 方々の状況を把握し、日常的な関わりから「この人なら手伝える」とわ からないと実際に何かあった時の対応はなかなか難しいと思います。防 災にかかわらず、独居の孤独死などの問題もこうした活動で防げるこ ともあるので、よい活動だと思います。 第一南山町内会ですが、ふれあい活動を通じて活性化を目指すとい うことで、この日常的な活動がとても重要になっていくと思います。日ご ろの住民とのコミュニケーションづくりや、子供やその親たちとの世代 交流もとても大事だと思いますので、どんどん進めていってほしいと思 います。 山の手自治会ですが、自治会の維持活動ということで、私の活動する 知多市では加入率がどんどん下がって、活動を維持できない自治会がで てきています。 みなさんに発表していただいた、日常的な活動、福祉的な活動、防災 活動等の取り組みを支える基礎が崩れ始めていますので、維持するた めにはどうしたらよいのかという、みなさんの発想はとても大事だと思

	ます。ふれあいの活動から、それぞれの地域が抱えている問題を解決する活動に変わっていかねばいけないと思います。 みなさんがおっしゃっていた地域の高齢化の問題は、日本全体の課題として向き合わねばいけません。介護保険制度が改正され、今後、対象者を非常に重い方に限定していきますので、みなさんが進めている、地域活動を通じたつながりづくりと健康寿命の増進の活動が重要となります。今後もますます進めたいと思います。 こうした課題に対して、全国的に見てみると、自治会活動を維持するため、無償だった自治活動の一部、事務局機能を有償化するという動きも出てきております。また、地域組織の小規模多機能自治化という流れもあり、小規模多機能自治推進ネットワークが日本全国で生まれています。これは基礎自治体のネットワークですが、中山間地域の人口の減少、高齢化率50%、60%というまちをどうするか、という問題をみなさんで共有していくネットワークです。インターネット上にありますので、関心のある方はぜひ見ていただきたいと思います。
伊藤候補選定員	【総評】 本日はみなさんお疲れさまでした。すばらしいプレゼンテーションをありがとうございました。本年度の申請は全部で9件、内訳は継続申請が5件、新規申請が4件でした。みなさんのプレゼンテーションを見させていただいて、継続申請については2、3年の活動が蓄積されて今後の活動がかなり充実した内容になっていると感じました。新規申請については、プレゼンテーションの準備も含めてずいぶん頑張って事業の具体化を図っていただいたんだなと感じました。その結果が、冒頭の結果につながっていると思います。ただ、継続事業に対する評価と新規事業に対する評価はおのずと違いますのでこれから新しく事業を展開しようとする新規事業のみなさまにはこれまで取り組んできた継続団体の展開の仕方等を参考にいただければと思います。また、内容をみますと自治会から連合自治会へ活動を広げようとする取り組み、あるいは連合自治会の取り組みを踏まえて単位自治会で新たな取り組みを進めていこうという、この助成事業は各地域で自治会活動の活性化を図っていただいますが、その枠を超えて地域的に広げていく、またはブレイクダウンしていく仕組みそういったものを具体的に確認できたプレゼンテーションだったと思います。みなさんが頑張って取り組んでいただいた内容が広がっていくというのは、この助成事業の一つのねらいでもあるので今後も広げていただけるような内容になっていけばなと思います。 この助成事業も来年で10年目を迎えます。さらに尾張旭市は3年後に市制50周年を迎えます。この助成事業の10年の蓄積が尾張旭市の50年60年を考えた時、次世代に引き継ぐべき大きな財産なのかなと

	思います。そういった意味で、発表いただいた事業計画にそって自治会活動の展開を図っていただきたいと思います。また、中間報告会でお会いできるのを楽しみにしています。今日はありがとうございました。
--	--

8 質疑応答 なし